

発達臨床研修【3時間を基本とした講義セット】

※臨床発達心理士のポイント更新可能

研修No	研修テーマ	講義	講義形式	講義時間	講師	受講料
B-2-1	高齢者支援の実際 (226分)	老いと死 —医療現場における看取り—	◎	59分	神田橋 宏治 (としま昭和病院、医師)	5,500円
		認知症の理解と支援	◎	50分	繁田 雅弘 (東京慈恵医科大学、主任教授)	
		高齢者・その支援者を共に支える	◎	52分	繁田 雅弘 (東京慈恵医科大学、主任教授)	
		高齢者支援における高齢者と家族に対する心理的支援の実際	◎	65分	加藤 伸司 (東北福祉大学、教授)	
B-2-2	対人支援として知っておきたい基礎知識 —自傷・自殺(自死)・貧困— (210分)	自傷について	◎	61分	松本 俊彦 (国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所、薬物依存研究部長(兼任)薬物依存症センター、センター長)	5,500円
		自殺(自死)について	◎	57分	新井 肇 (関西外国語大学、教授)	
		貧困の理解	◎	92分	松本 伊智朗 (北海道大学、名誉教授)	
B-2-3	他者を傷つけること —暴力について考える— (189分)	暴力や加害の背景にあるもの	◎	56分	藤岡 淳子 (大阪大学、名誉教授)	5,500円
		虐待、DV、いじめ、ハラスメント —弱者への暴力を考える—	◎	75分	中村 正 (立命館大学、教授)	
		暴力の世代間伝達	◎	58分	野坂 祐子 (大阪大学、教授)	
B-2-4	さまざま文化や多様性についての理解を深める (211分)	文化における普遍性と多様性 —進化心理学、社会心理学、人類学の視点から捉える—	○	37分 35分 35分	長谷川 眞理子 (総合研究大学院大学、前学長) 外山 みどり (学習院大学、名誉教授) 波平 恵美子 (お茶の水女子大学、名誉教授)	5,500円
		マイノリティの文化と心理的支援 —さまざまなマイノリティと多様性の理解—	○	45分 21分 38分	加賀美 常美代 (目白大学、教授) 葛西 真記子 (鳴門教育大学、教授) 熊谷 晋一郎 (東京大学、准教授)	
B-2-5	生命の誕生・発達・成長について考える (180分)	生命倫理 —医療の高度化と倫理—	◎	67分	香川 知晶 (山梨大学、名誉教授)	5,500円
		いのちの誕生 —NICUにおける支援—	◎	55分	永田 雅子 (名古屋大学、教授)	
		脳とこころの発達 —脳科学の知見から—	◎	58分	黒田 公美 (東京工業大学 生命理工学院、教授)	
B-2-6	家族・生活とこころについて考える (208分)	基本的人権の尊重と今日的課題	◎	60分	岩佐 嘉彦 (日本子ども虐待防止学会理事長、弁護士)	5,500円
		家族 —我が国における家族の変遷—	◎	60分	神谷 哲司 (東北大学、教授)	
		家族像とアイデンティティ —社会的養育における身近な大人の役割—	□	55分	神谷 哲司 (東北大学、教授) 松永 忠 (社会福祉法人別府光の園、統括施設長) 国分 美希 (社会福祉法人至誠学舎立川 至誠大空の家、施設長)	
		子育て支援と心理職の役割	◎	33分	八木 安理子 (同志社大学、客員教授)	
B-2-7	病気や障害のある子どもや家族の支援 (201分)	病気・障害とこころ	◎	45分	黒木 俊秀 (九州大学、教授)	5,500円
		重い病気の子ども：障害とこころ —病気の子どもの心理支援—	◎	69分	藤野 陽生 (大阪大学、准教授)	
		障害のある当事者、家族、支援者への支援と心理職の役割	◎	40分	田熊 立 (千葉県発達障害者支援センターCAS、副所長)	
		強度行動障害の理解と支援の実際	◎	47分	高橋 潔 (鉄道弘済会、理事)	
B-2-8	精神医療に触れる① —身体とこころを考える— (202分)	身体とこころ —こころを身体の間から捉える—	○	82分	黒木 俊秀 (九州大学、教授) 熊野 宏昭 (早稲田大学、教授) 兼本 浩祐 (愛知医科大学、教授)	5,500円
		こころの病とこころの健康を考える —精神科医療における診断—	□	74分 46分	黒木 俊秀 (九州大学、教授) 山下 洋 (九州大学病院、特任准教授) 杉山 登志郎 (福井大学、客員教授)	
B-2-9	精神医療に触れる② (213分)	医療化/心理化とメンタルヘルスケアの社会化	◎	78分	石原 孝二 (東京大学、教授)	5,500円
		こころの病とこころの薬	◎	55分	黒木 俊秀 (九州大学、教授)	
		心と体の境界域：慢性・一次性疼痛の臨床	△	80分	黒木 俊秀 (中村学園大学、教授) 杉山 登志郎 (福井大学、客員教授)	

発達臨床研修【3時間を基本とした講義セット】

※臨床発達心理士のポイント更新可能

研修No	研修テーマ	講義	講義形式	講義時間	講師	受講料
B-2-10	医療現場の実践 ―トラウマインフォームドケアに焦点をあてて― (193分)	保健医療分野におけるトラウマインフォームドケア	◎	64分	大岡 由佳 (武庫川女子大学、准教授)	5,500円
		医療従事者の虐待対応とその後―TICの視点から	○	85分 21分 23分	毎原 敏郎 (兵庫県立尼崎総合医療センター、医師) 大岡 由佳 (武庫川女子大学 准教授) 黒木 俊秀 (中村学園大学、教授)	
B-2-11	社会的養護における心理支援 (196分)	社会的養護を必要とするこどもの支援と心理職の役割1： 小学校年齢児	◎	66分	藤原 誠 (子どもの虹情報研修センター、研修課長)	5,500円
		社会的養護を必要とするこどもの支援と心理職の役割2： 思春期・青年期	◎	57分	増沢 高 (子どもの虹情報研修センター、研究部長)	
		生活の営みとところ ―児童養護施設における暮らしを通して考える―	□	73分	増沢 高 (子どもの虹情報研修センター、研究部長) 松永 忠 (社会福祉法人別府光の園、統括施設長) 国分 美希 (社会福祉法人至誠学舎立川 至誠大空の家、施設長)	
B-2-12	司法分野における支援のための基礎知識 (187分)	司法における人間へのまなざし	◎	49分	廣瀬 健二 (元裁判所判事)	5,500円
		司法・犯罪分野における特有の感情の理解	◎	69分	門本 泉 (大正大学、教授)	
		反省や内省を促す心理職の関わり	○	45分 24分	石川 隆行 (宇都宮大学共同教育学部、准教授) 門本 泉 (大正大学、教授)	
B-2-13	司法・犯罪分野における心理支援① (206分)	司法・犯罪関連施設における生活と関係性の治療的意味 ―児童自立支援施設における支援と子どもの育ち―	△	62分 27分	富田 拓 (北海道家庭学校樹下庵・網走刑務所医務課、医師) 村瀬 嘉代子 (日本心理研修センター顧問大正大学客員名誉教授)	5,500円
		逸脱行動の背景にある愛着の課題や発達の課題の理解 ―ある事例をもとに―	○	86分	富田 拓 (北海道家庭学校樹下庵・網走刑務所医務課、医師) 野坂 祐子 (大阪大学、教授) 田中 康雄 (こころとそだちのクリニックむすびめ、医師)	
		子どもの権利擁護と法制度	◎	31分	高橋 温 (新横浜法律事務所、弁護士)	
B-2-14	司法・犯罪分野における心理支援② (185分)	家庭内紛争の中にいる子どもの心理	○	46分 44分	安保 千秋 (都大路法律事務所、弁護士) 熊上 崇 (和光大学、教授)	5,500円
		司法関係者等との有効な連携を図るためのアセスメントと関わり ―司法分野におけるアセスメントと司法面接―	○	38分 57分	寺村 堅志 (常磐大学、教授) 仲 真紀子 (理化学研究所、立命館大学、教授)	
B-2-15	司法・犯罪分野における心理支援③ (195分)	加害者支援と犯罪被害者支援	○	40分 33分 37分	寺田 孝 (川越少年刑務所、法務教官) 齋藤 梓 (上智大学総合人間科学部、准教授) 対談	5,500円
		依存症の理解と対応	◎	85分	松本 俊彦 (国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所、薬物依存研究部部長(兼任)薬物依存症センター、センター長)	
B-2-16	産業分野における支援のための基礎知識 (218分)	外部EAB論 ～若手の退職事例～	◎	62分	田中 勝男 (公認会計士)	5,500円
		復職支援 (リワーク)	◎	60分	三宅 美樹 (トヨタ車体研究所)	
		雇用に関わる法とルール 対談 ～労働法と就業規則の枠組を知る～	△	96分	小島 健一 (弁護士) 三宅 美樹 (トヨタ車体研究所)	
B-2-17	職場における心理的健康を考える (192分)	社会集団・組織と心身の健康	◎	61分	山口 裕幸 (九州大学、教授)	5,500円
		組織論 ～若手社員のうつ反応～	◎	71分	佐藤 恵美 (メンタルサポート&コンサル沖縄)	
		産業精神保健論	◎	60分	高野 知樹 (神田東クリニック、院長)	